

県議会報告

2015年6月

日本共産党 岡山県議会議員団

岡山市北区内山下2-4-6 岡山県議会内
TEL 086(226)7412
FAX 086(231)2187

森脇ひさき
氏平みほ子
すます伸子

「戦争法案」反対! 命と暮らしを守る政治を! 県民のみなさんの声をしっかり届け、がんばります

3議席へ前進!



4月の県議選では、岡山市北区・加賀郡区で森脇ひさき(現・4期目)、岡山市中区で氏平みほ子(現・2期目)、倉敷市・都窪郡区ですます伸子(新)が当選。3人による会派を復活することができました。選挙戦を通じていただいた様々な声をしっかり届け、その実現に向けて全力でがんばります。

5月15日の臨時議会で委員会の所属等が決まりました。

森脇ひさき (県議団長)

総務委員会
地域経済活性化対策特別委員会
議会運営委員会(オブザーバー)

氏平みほ子 (副団長)

文教委員会
決算特別委員会

すます伸子 (幹事長)

環境文化保健福祉委員会
総合計画・行財政改革特別委員会

赤坂元県議が「日当」返還

岡山県議会では、議会開催日に出勤すると、費用弁償(通勤距離に応じたガソリン代)と「日当」(一律3千円)が支給されます。議員には報酬が支給されていますので、さらに「日当」を受けるとするのはまさに「二重取り」です。

日本共産党は、これらの制度の廃止を求めるとともに、「日当」は返還することを決めています。議員の任期中に返還すると公職選挙法の寄付行為にあたるため、一旦法務局に供託し、引退が明確になった時点で返還することとしています。

倉敷市・都窪郡区で、すます伸子議員と交代した赤坂てる子元県議は5月19日、県庁を訪ね、2期8年の間に供託していた「日当」に法務局の利子を加えた179万8549円を返還しました。



6月議会の予定

選挙後初の本格的な論戦の場となる6月定例県議会が6月15日から始まります。

すます、森脇両県議が一般質問に立ちます。

☆すます伸子県議は23日に初質問に、

☆森脇ひさき県議は30日の予定です。

ともに2番目(10時40分くらいから)の登壇を予定しています。ぜひ傍聴にお越し下さい。

議会を前にした常任委員会は6月3日、午前10時から、議題や請願・陳情の採決をおこなう常任委員会は7月2日午前10時から開かれます。

6月議会の最終日・7月7日には氏平みほ子県議が討論をおこないます。

ご意見、ご要望をお寄せ下さい。

たたかいと連帯してがんばります



森脇ひさき県議

集団的自衛権の行使を具
体化し、「戦争する国」づく
りをおしすすめる安倍内閣
に対し、「憲法を守れ！、平
和を守れ！」という国民の
声はさらに大きくなってい
ます。福祉を切り捨てる政
治に対しても、「健康で文化
的な生活の保障」を求める
生存権裁判、年金裁判がは
じまりました。

そんな中、新しい任期の県
議会スタートです。

選挙戦では、「地方から安
倍内閣の暴走ストップの声
をあげよう」「県民の声が
まっすぐ届く県議会へ」と訴
えました。県民のみなさん
の各種のたたかいとしっかり
団結し、県民のみなさんの
願い実現へ全力でがんばり
ます。

県議会では、総務委員会
と地域経済活性化対策特
別委員会に所属します。

県の総合計画、防災、米
軍機の低空飛行、原発、私
学教育、人権、男女共同参
画、安全・安心、中山間・地
域振興、地域経済など、幅
広い分野の議論ができま
す。

初議会から県民の声とぞげます



すます伸子県議

初当選を果たすことがで
き、初議会を前にして感激
と緊張で、身の引き締まる
思いです。

6月の初議会です。早速、一般
質問に立ちます。選挙中一
番訴えた、倉敷駅鉄道高架
事業の中止、子どもの医療
費無料化の年齢拡大のため
に倉敷市に対する県の補助
金を元に戻すことについて
とりあげたいと思っています。

いま、地方は、人口減少と

地域経済の低迷に苦しんで
います。私は、「地方創生」交
付金を効果的に活用するこ
とを積極的に提案したいと
思います。

一方、「地方創生」には、地
方を集約し、「地域連携」の
名で道州制に道を開く危険
もあります。小中学校の統
廃合や自治体病院の再編
などが進められています。
「平成の大合併」が押しつけ
られたやり方と似ていると
感じます。いま、沖縄や大阪
のように、地方の団結と共
同の力で自治を守るたたか
いが必要です。

安倍政権の「戦争する国」
づくりをストップするため
も頑張ります。

自公政権の暴走にレッドカードを



氏平みほ子県議

二期目に押し上げていた
だくことができました。党
県議が3人に増えて、議会
の控室も広くなりました。
気軽に過ごして下さい。

今、戦争法案など、安倍自
公政権の暴走は、留まるこ
とを知りません。地方議会
からもレッドカードを突き
付けて日本列島が騒然と

なるようなたたかいをしま
しょう！
議会では、文教委員会と
決算特別委員会に所属す
ることになりました。

岡山県の教育行政には問
題が山積していると感じて
います。市町村、学校ごとに
点数が出る「学力テスト」で
競わせ、規範意識、道徳教
育の強化を押しつけること
は特に大問題です。

子どもたちが学ぶ喜びを
大きくできる、真に子ども
のための教育へ、しっかり勉
強して積極的な提案ができ
るように頑張ります。

「女性県議の会」が発足

4月の選挙で、岡山県議
会の女性議員が7人(共産
党2人、自民党2人、民主
党1人、無所属2人)で過
去最高となりました。さつ
そく7人の議員が集まり
「女性県議の会」を発足さ
せました。

6月には知事と女性議

員の懇談会、県庁の女性
幹部職員との懇親会をお
こなうことを決めました。
今後は、女性政策などを
学習したり、要望を出し
合ったり、党派を超えて一
緒にできることに取り組ん
でいこうと話し合われてい
ます。

領収書、活動内容の公表を

保管が義務づけられてい
る政務活動費の領収書を
「紛失した」議員がいること
が、政務活動費に係る裁
判を通じて明らかになって
います。ひどい話です。

日本共産党県議団は、ひ
きつぎ次の通り改革を
求めます。

1、政務活動費の領収書
は、会派の支出も含めて

すべての領収書を公表す
ること。

2、政務活動費を使った
活動の内容についても公
表すること。

3、出勤のための費用弁
償、日当は廃止すること。

4、海外派遣旅費は廃止
すること。

5、10%の議員報酬削減
をおこなうこと。